



4 西区 事後ヒアリングより

ヒアリング対象：民間スポーツクラブ（陸上）、校長、顧問教員、部活動指導員

①学校部活動との関係：

- ✓ イベントではなく継続した活動としてならば、+αの気づきを得る機会にするためにも、普段から互いに連携して活動内容をある程度把握しているほうが効果的（クラブ）
- ✓ 様々な人に様々なことを教わる良い機会となった。他の中学校の生徒と触れ合えるのも良い機会になる。将来的にも子どもの活動機会を確保することが大事（校長）
- ✓ 顧問教員としては部活動は授業で普段見せない顔が見られる機会でもあるが、部活動指導員の立場からは、外部が関わることで学校では見せない顔を出せる居場所になるとも言える（部活動指導員）

④受け皿、事業収益性の確保：

- ✓ クラブでの活動は、中学生以上というカテゴリーで1時間45分。競技レベルは様々で週1参加が多い。現行で月5,500円の会費、週当たり20人くらい。今回の指導者は、このクラブ以外にも、大学の顧問やクラブ指導を実施。クラブが中体連の大会参加をめざして中体連に加盟することは、大会運営負担も伴うため、ハードルが低い訳ではない（クラブ）

卓球
陸上競技

部活動指導員（花乃井中）
民間事業者（西中）

花乃井中20名 西中17名の卓球部員が参加
西中の陸上部員24名が参加